

# 住民説明会における主な意見等

## 相模原市

### 合併協議に関して

・町田市や座間市、愛川町との合併の話はないのか。

### 財政に関して

・合併することによる財政負担はどのくらいあるのか。

### 合併市町村基本計画・まちづくりに関して

- ・生活の足となるバス路線が廃止になり不便になった。改善策を考えてほしい。
- ・旧市域に対して、津久井地域は自然がたくさん残っている。乱開発などがないよう津久井地域を憩いの場としてほしい。
- ・まちづくりは建物や道路などのハード面の整備だけでなく、人づくりや人と人の連帯感を育むソフト面の事業も展開してほしい。
- ・木もれびの森等の旧相模原市域の自然を開発行為などしないで守ってほしい。
- ・さがみ縦貫道路や津久井広域道路の進捗状況はどのようにしているのか。
- ・新交通システムの計画の内容はどのようにしているのか。
- ・橋本から津久井方面への京王線の計画があったが、どうなったのか。
- ・小田急線の延伸計画はどのようにしているのか。
- ・橋本駅周辺、相模大野駅周辺の計画はどのようにしているのか。
- ・リニア実験線が延長されるが、リニア新幹線の計画はどのようにしているのか。
- ・相模総合補給廠の一部が返還されるが、どのような構想を持っているのか。
- ・城山町の文化施設の整備及び横山スポーツ広場の用地買収等の整備計画についてどのようにしているのか。
- ・合併後、津久井地域のごみの処理やその費用はどうなるのか。
- ・政令指定都市への市としての取り組みと政令指定都市への昇格の条件は何か。

## 城山町

### 住民説明、住民意向の把握に関して

- ・地域協議会を発展させてもらいたい。
- ・免許証等の変更手続きについて、早く住民に知らせてほしい。
- ・各事務事業の見直しの際、それを地域協議会へ諮るのか。また、地域協議会の権限はどの程度あるのか。
- ・合併により議会議員が失職するが、城山選出の議員が少なくなり地域の声というものが届かなくなることはないのか。

### 財政に関して

・ふるさと創生基金の現在の状況と今後の活用について、町はどのように考えているのか。

### 合併市町村基本計画・まちづくりに関して

- ・さがみ縦貫道路や津久井広域道路の整備・計画について、今後の見通しはどのようにしているのか。
- ・津久井地域への私鉄の延伸（京王線・小田急線）を進めてもらいたい。
- ・バスは高齢者等にとって貴重な足であるため、現行のまま運行してもらえようにしてほしい。
- ・文化施設の整備や横山スポーツ広場が恒久的な施設として利用できるよう用地取得、施設整備を進めてもらいたい。
- ・合併後も住民に身近なサービスを提供する部署は、総合事務所に残してほしい。
- ・市街化調整区域（小倉・葉山島）の下水道整備はどのようにするのか。

### その他

- ・合併後も町で実施している現行の助成制度（自治会運営・集会所建設費等・防犯灯の維持管理）を残してほしい。
- ・合併後も公民館で実施している生涯学習活動を続けてほしい。
- ・自治会活動はどのようにするのか。また、3年間は現状のまま実施していくことができるのか。
- ・地域活性化のため、現在、体育協会等で実施しているイベントは、合併後どのようにするのか。

# 相模原市が実施した城山町との合併についてのパブリック・コメントの結果

政策(案)に対する意見等(要旨)	意見数	市としての考え方
飛び地合併には反対だったが、来年3月には1市4町が合併し、飛び地が解消されるので、この合併に賛成する。	1	本市としては、相模原・津久井地域の将来の発展のため津久井郡すべての町と合併できることが望ましいと考えております。合併後は新市の一体性の確保を図るためにも、市民の皆様からご意見をいただき、新たな総合計画を策定し、行財政の効率化を図りながら、それぞれの市町が持つ特性や資源をより有効に活用し、中・長期的な視野のもとに、より発展性のあるまちづくりを目指します。
1市4町での合併が実現できて嬉しく思う。	1	
合併後は、なるべく早期に新市の一体性を確保できるようにしてほしい。	2	地方自治法では、人口50万以上で政令で指定する市が、政令指定都市となっています。人口約70万の静岡市のように大規模な合併をした場合の特例措置もございます。本市としては、政令指定都市の可能性について、検討していくこととしております。
合併後は、人口70万人を超えるので、政令指定都市を目指し、相模原市を全国にアピールしてほしい。	1	
「合併したらどうなるの?」を見て、小児医療費助成が、来年4月から就学前までになることを知った。合併に関わらず子育て支援に力をいれて欲しい。	1	
公民館の使用料は、相模原市では無料だが、城山町は有料になっている。公民館は教育機関であり、相模原市の現状に合わせて無料になるようお願いしたい。	1	
合併に伴い津久井地域にある県の出先機関は、どうなるのか。	1	
合併基本計画に、新しい交通システムの導入検討とあるが、具体的にどんな計画なのか。	1	新しい交通システムについては、現在、相模大野駅から原当麻駅を結ぶルートで、一般道や専用軌道を同一車両で走れるデュアルモードバスでの導入を基本とし、事業手法や事業採算性を検討しているところです。新市域を対象とした新しい交通システムについては、新市において策定する総合都市交通計画の中で検討してまいります。

# 合併協議会の平成17年度決算について

## 相模原市・藤野町合併協議会決算報告

相模原市・藤野町合併協議会の平成17年度決算は、次のとおりです。

項目	金額	備考
歳入決算額	40,000,020円	相模原市負担金 20,000,000円 藤野町負担金 20,000,000円 預金利子 20円
歳出決算額	28,604,495円	合併協議会だより作成委託料 14,471,441円 印刷製本費 9,183,759円 など
歳入歳出差引残額	11,395,525円	負担金の負担割合に応じ、市町へ返還しました。

## 相模原・津久井地域合併協議会決算報告

相模原・津久井地域合併協議会の平成17年度決算は、次のとおりです。なお同協議会は平成18年3月19日に廃止されました。

項目	金額	備考
歳入決算額	45,000,017円	相模原市負担金 22,500,000円 城山町負担金 7,500,000円 津久井町負担金 7,500,000円 相模湖町負担金 7,500,000円 預金利子 17円
歳出決算額	11,073,095円	合併協議会だより作成委託料 7,877,616円 印刷製本費 316,348円 など
歳入歳出差引残額	33,926,922円	負担金の負担割合に応じ、各市町へ返還しました。(津久井町、相模湖町返還分は合併後の相模原市へ繰り入れました。)

## 相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会決算報告

相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会の平成17年度決算は、次のとおりです。なお同協議会は平成18年3月19日に廃止されました。

項目	金額	備考
歳入決算額	17,000,033円	相模原市負担金 8,500,000円 津久井町負担金 4,250,000円 相模湖町負担金 4,250,000円 預金利子 33円
歳出決算額	16,381,766円	合併協議会だより作成委託料 6,172,652円 暮らしのガイドブック作成委託料 2,828,595円 新聞広告料 2,415,000円 など
歳入歳出差引残額	618,267円	合併後の相模原市へ繰り入れました。

## 相模原市・藤野町合併協議会

ホームページ <http://www.sf-gappei.jp>

## 相模原市・城山町合併協議会

ホームページ <http://www.ss-gappei.jp>

お問い合わせ先

〒229-0036

相模原市富士見6-6-23 けやき会館3階

☎042-769-8206 FAX042-768-4066

E-mail [kouiki@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:kouiki@city.sagamihara.kanagawa.jp)

